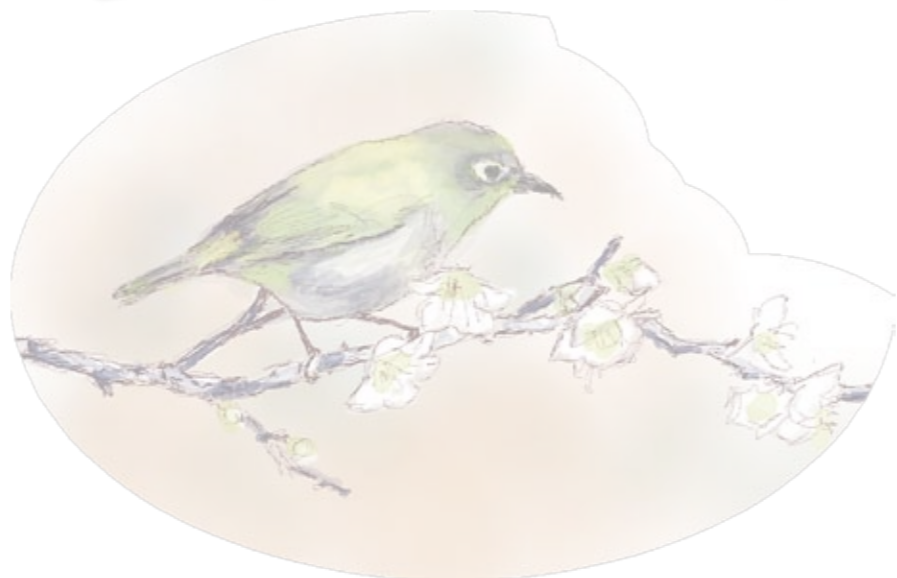


新年 賀 謹



中津市長



奥塚正典

中津市議会議員



藤野英司

明けましておめでとうございます。皆様には、希望に輝く新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より市政へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。中津市は、「暮らし満足ナンバー1」をめざして「なかつ安心・元氣・未来プラン」に基づき、各種政策を実施しているところです。

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で健やかに暮らしていくため、医療と介護の連携体制を整備しながら、「元氣いきいき週一体操教室」や「サロン活動」などの健康づくりを進めています。

保育所・放課後児童クラブの定員増を行い、屋外大型遊具・屋内プレイルームなどの子どもの遊び場を整備しましたが、今年度は病児保育や子ども医療費助成の拡充など子育て施策にも引き続き力を入れてまいります。

人口減少に対応するため、孤立ゼロをめざした訪問や困りごとサポート隊の新設など、顔の見えるサービスの充実をめぐる一方、定住に不可欠である地場企業の振興や企業立地を推進し、経済基盤の強化にも努めています。さらに、今年度は「新中津市学校（仮称）」や「中津市歴史博物館（仮称）」

の開設など、あらゆる年代、様々な分野での学びや活動の機会を創出します。

日本が本格的な人口減少社会を迎える中、中津市は減少を最小限にとどめています。しかし、「近年多発する災害への確かな備え」「二次産業の担い手確保」「子どもの可能性を拡げる教育」「環境との共生」「男女共同参画」など、取り組むべき課題も山積しています。こうした課題に迅速かつ着実に対応していくと同時に、施策の実行には安定した財政基盤が不可欠であり、不断の行財政改革に取り組んでまいります。

まちづくりには、国や県・近隣自治体はもとより、大学等の教育機関、民間企業や市民団体、そして皆様一人ひとりの力との連携・結集が必要です。中津市に「住みたい」と思っていただけのように、「災害に強い」、「そして「誰もが夢と希望を持ち、将来にわたって暮らし満足を実感できる」まちづくりに取り組んでまいります。今後とも皆様のまちづくりへのご参加、ご協力をお願い申し上げます。

今年度は中津市制が施行されて90周年です。新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春を晴れやかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から中津市議会の活動に対する温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

議長就任後、1年を過ぎましたが、より身近な議会、開かれた議会の実現を念頭に置き、議会運営に努めてまいりました。初春を迎えて、中津市のさらなる飛躍のために、市議会議員として使命を全うしたいと我が身に誓っています。

中津市では、昨年4月に耶馬溪町金吉地区で山地崩壊による大規模な土砂災害が発生し、6名もの尊い命が失われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様にご心からお悔やみを申し上げます。

また、西日本豪雨災害をはじめ台風や地震などの自然災害が日本各地で頻繁に発生しており、東日本大震災の復興とあわせまして、今後も日本全体が協力して支援や災害対策事業を促進していく必要性を強く感じているところです。

さて、中津市議会といたしましては、昨年3月に次期改選時からの議員定数を2

名減とし、定数24名とする条例改正を行ったところで、これまで以上に皆さまの多様な意見を市政に適切に反映させる責務を担うこととなりますことから、議員一人ひとりが研鑽に努め、資質の向上を図ることはもとより、市議会が皆様のより身近な存在でなければならぬと思っております。

二元代表制の一翼を担う市議会として、その役割と責任の重さを自覚し、活力のある中津市の実現に向け、更に創意工夫を重ねるとともに、豊かで住みよいまちづくりにめざし、議員一同全力で取り組んでいく所存でございます。

これからも市民の皆さまの声を大切に、さまざまな市政課題の解決に取り組む、安全・安心で豊かな市民生活の実現に向けて、市執行部に対して政策の提案や各種施策・事業の推進・検証に引き続き取り組んでまいりますので、今後とも皆さまの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

中津市にとりまして、新しい年が活力にあふれ、市民の皆さまが笑顔で暮らせる素晴らしい年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。